

令和6年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

家 庭

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	------------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから5ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 次の文は、高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）第 2 章第 9 節家庭第 1 款目標である。後の (1)～(3)の問いに答えなさい。

第 1 款 目 標

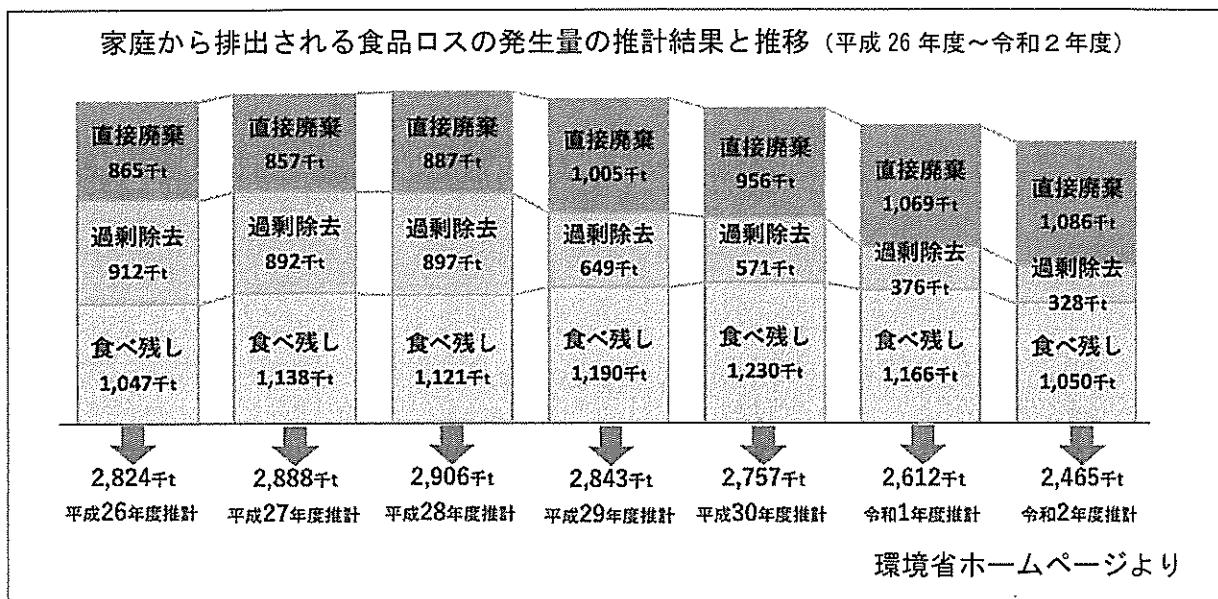
(ア)生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、(a)・(b)な学習活動を通して、様々な人々と(c)し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して(d)に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を(d)に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る(e)を身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して(イ)生活の課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と(c)し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を(d)に創造しようとする(a)な態度を養う。

- (1) (a)～(e)に当てはまる語句を書け。
- (2) 下線部(ア)について、衣食住の生活に関する内容を指導する際に重視される視点は「生活文化の継承・創造」の他に何があるか答えよ。
- (3) 下線部(イ)について、ホームルーム単位又は家庭科の講座単位、さらに学校としてまとめて、学校や地域の生活の中から課題を見出し、グループで主体的に計画を立てて実践する学習活動の名称と、その指導に当たっての留意点を 3 つ答えよ。

2 食生活について次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

- (1) 下の図は環境省が令和 4 年 3 月に公表した食品廃棄物等の発生抑制及び再生利用の促進の取組に係る実態調査の一部である。グラフから読み取れる食品ロスの発生量の傾向を答えよ。また、その理由について考察し、根拠を踏まえて書け。



- (2) 生産・流通・消費などの過程で発生する、まだ食べられるにも関わらず廃棄されようとしている食品を寄付し、必要としている人や施設等に提供する取組を何というか書け。
- (3) 調理実習で肉じゃがを作りたい。1人分に使用するじゃがいもの重量は不可食分を除き70gである。じゃがいもの廃棄率を10%とし、4人分の材料として用意するじゃがいもの重量を計算し、小数点以下を切り上げて整数で書け。
- (4) 肉じゃがに使う調味料は酒・しょうゆ・砂糖(上白糖)各大さじ1ずつである。各調味料の重量を書け。
- (5) 炭水化物の種類に関する下の表中(a)～(h)に当てはまる語句を書け。

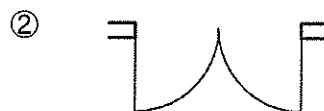
分 類		種 類		食品等所在	
エネルギー源になる	(a)	単糖類	(d)	果物、はちみつ	
		(c)	ショ糖	砂糖	
		多糖類	(e)	穀類、いも類	
エネルギー源にならない	(b)	多糖類	水溶性	(f)	果物
				グルコマンナン	(g)
			ガラクトン	(h)	
			不溶性	キチン	甲殻類

- (6) 上の表中(a)の代謝に関わり、不足すると「かっけ」を引き起こすビタミンの名称と、それを多く含む食品の例を1つ書け。

3 住生活と住環境について、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

- (1) 耐震構造と免震構造について、それぞれどのようなものか説明せよ。
- (2) 地震によるタンスや本棚の転倒を防ぐ方法を1つ書け。
- (3) 下の写真は、岐阜県白川村で見られる伝統的な住居である。この建築様式の名称を答えよ。また、地域の気候や風土に合わせたこの住居の特徴を1つ書け。

- (4) 次の①、②の平面表示記号が表すものを答えよ。



4 衣生活に関する次の文を読み、後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

多くの衣服は繊維から作られており、大きく分けて(ア)原料により(a)繊維と(b)繊維の2つに分類される。(b)繊維の中には植物を原料としてつくられ、絹に似た光沢をもつものもある。また(b)繊維のうち、石油を原料として作られる繊維を(c)繊維と呼ぶ。

繊維をそろえて束にし、ねじって絡ませることで糸にするが、短い繊維に撚り^{ひねり}をかけて糸を作ることを(d)という。

糸は織ったり編んだりして布にする。(イ)織ってできた布の代表的な組織を三原組織という。布は裁断し(e)するなどの工程を経て衣服になる。繊維の種類や布の成り立ち、衣服の構成を知ることは、(ウ)着用の目的に合った衣服を選ぶことや、(エ)適切に衣服を管理することにもつながる。

(1) (a)～(e)に当てはまる語句を書け。

(2) 下表は文中の下線部(ア)について、代表的な繊維の長所と短所をまとめたものである。(A)～(C)に当てはまる繊維の名称を答えよ。

名称 特徴	(A)	(B)	(C)
長所	・保温性が高い ・吸湿性が高い ・しわになりにくい	・伸縮性に富む ・軽い ・しわになりにくい	・肌触りが良い ・熱に強い ・吸水性、吸湿性が高い
短所	・アルカリに弱い ・虫害を受けやすい ・ぬれた状態でもむと縮む	・静電気を帯びやすい ・アルカリに弱い ・汚れやすい	・しわになりやすい ・乾きにくい ・ぬれると縮みやすい

(3) 下線部(イ)について、織物の三原組織の名称と、代表的な布地の名称、特徴・性質、主な用途の組合せとして正しいものを下表の①～③から1つ選び記号で答えよ。

項目 選択肢	組織の名称	布地の名称	特徴・性質	主な用途
①	斜文織	サージ	斜めの方向にうねが現れる	ジャケット
②	平織	ガーゼ	横方向に編み目をつくる	シャツ
③	朱子織	ツイード	表面がなめらかで光沢がある	ネクタイ

(4) 下線部(ウ)について、学校の運動着としてふさわしいのはどのような衣服か。文中の波線部「繊維の種類や布の成り立ち、衣服の構成」の観点から答えよ。

(5) 下線部(エ)について、麻 100%でできたシャツに最もふさわしい取扱い表示の組合せはどれか。下の①～③より1つ選び記号で答えよ。



5 次の文は、高等学校学習指導要領(平成 30 年告示)第 2 章第 9 節家庭第 2 款各科目第 1 家庭基礎 2 内容「C 持続可能な消費生活・環境」の一部である。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(2) 消費行動と意思決定

ア 消費者の権利と(a)を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、(b)の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できること。

イ (c)した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや(a)ある消費について考察し、工夫すること。

(1) (a)～(c)に適する語句を書け。

(2) 下線部について、2022 年 4 月より成年年齢が 18 歳に引き下げになり、親の同意がなくても可能となった契約の具体例を 2 つ書け。

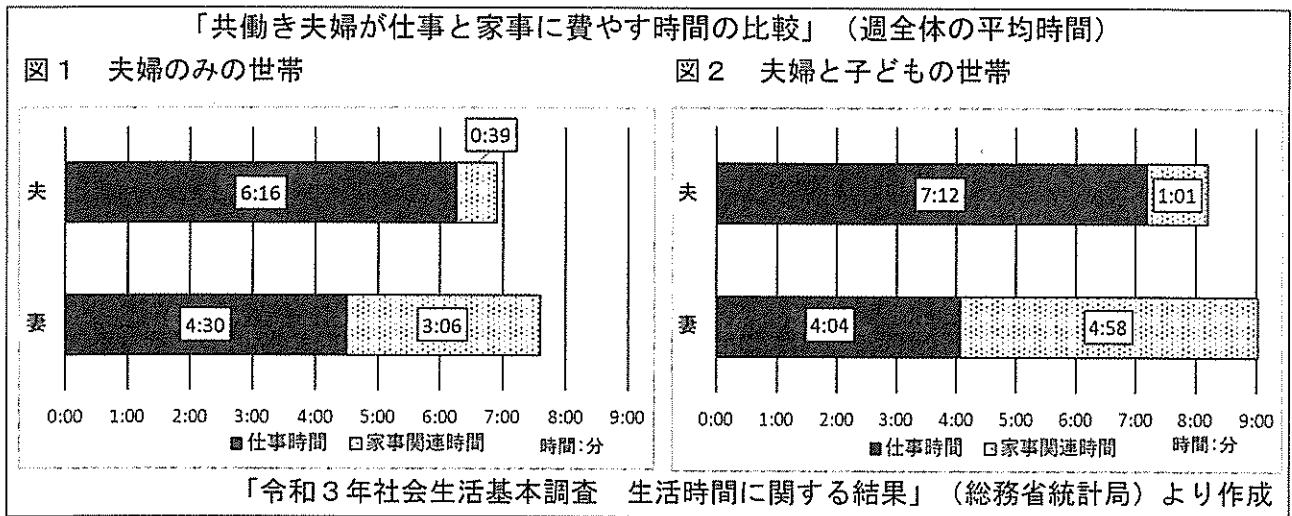
(3) クーリング・オフ制度に関する次の記述①～③のうち、正しいものを 1 つ選び記号で答えよ。

- ① 訪問販売で代金が 3000 円未満の現金取引の場合はクーリング・オフができない。
- ② 特定継続的役務提供のクーリング・オフの期間は 20 日間である。
- ③ 電話勧誘販売と通信販売はクーリング・オフ制度の対象外である。

(4) 個人が多重債務に陥った場合の債務の整理方法のうち、裁判所が決定し、財産を債権者に分配して債務を清算する方法を何というか書け。

6 家族・家庭と社会のかかわりについて、次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

(1) 下の図 1 と図 2 から読み取れる夫婦の仕事と家事に費やす時間の課題について、「ペイドワーク」と「アンペイドワーク」という言葉を使いながら説明せよ。



(2) 高度経済成長を背景に、1960 年代以降に一般化し、強まっていった「男は仕事、女は家事・育児」という考え方を何というか書け。

(3) 合計特殊出生率とは何か、説明せよ。

(4) (1)～(3)の内容を「家庭基礎」の授業で扱う場合、あなたならばどのようなことを生徒に考えさせたいか、具体的に書け。

(5) 1994 年の国際人口開発会議において提唱された概念で、全てのカップルと個人が、子どもを産むかどうか、人数、出産間隔や時期などについて責任を持って自由に決定でき、そのための情報と手段を得ることができる権利を何というか書け。

(6) 子どもの発達について、乳児に見られる愛着行動とはどのようなものか、具体例を挙げて説明せよ。

7 高齢社会を支えるしくみについて、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の文の(a)～(f)に当てはまる語句や数字を書け。

個人や家族による介護には限界がある。そこで 2000 年から、介護の(a)化を目指して(b)が導入された。(b)は、高齢者の自立を支援し、介護を社会全体で支え合うことを理念として、日本に住所を持つ(c)歳以上の者は全て加入し、月々保険料を支払う。

介護サービスを利用したい場合は、介護保険被保険者証を添えて市区町村に申請する。認定調査員が訪問調査し、判定の結果、(d)度や家族の希望などを基に(e)が(f)を立てる。

(2) 次の①～③の介護サービスを何というか書け。

① ホームヘルパーが訪問して身体介護や生活支援を行う居宅サービス。

② 介護施設で宿泊を伴う介護を行う居宅サービス。

③ 認知症の要介護者が住み慣れた地域で生活し続けられるよう、共同生活の中で介護や機能訓練を行う地域密着型サービス。

(3) 車椅子の介助を「家庭基礎」の授業で取り扱う場合、高齢者を乗せた車椅子の移動介助について、生徒にどのような安全面の注意事項を示すか、具体的に説明せよ。

8 次の文はホームプロジェクトについて述べたものである。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

ホームプロジェクトは各自の家庭生活を見つめなおし、家庭科で学んだことを役立て課題解決を図る学習活動である。高等学校学習指導要領(平成 30 年告示)解説家庭編第 2 章家庭科の各科目にはホームプロジェクトについて「学習活動は、計画、(a), (b)・(c)の流れに基づいて行い、実施過程を記録させること。」と記されている。

(1) (a)～(c)に当てはまる語句を書け。

(2) 「持続可能な暮らしを目指して」というテーマでホームプロジェクトに取り組ませたい。取組においてどのように生徒に課題を発見させるか、具体的に説明せよ。

(3) ホームプロジェクトで取り組んだことのまとめとして、生徒それぞれが授業で発表を行う際、指導の上で工夫する点について書け。

家庭 解答用紙	2 枚中の 1	受験 番号	氏名	(6年)
---------	---------	----------	----	------

1	(1)	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
	(2)					
	(3)	名称 :				
2	留意点					
	(1)	傾向				
		理由				
(2)				(3)	g	
(4)	酒 :	g		しょうゆ :	g	
(5)	(a)	(b)	(c)	(d)		
	(e)	(f)	(g)	(h)		
(6)	名称 :		多く含む食品 :			
3	(1)	耐震構造 :				
		免震構造 :				
	(2)					
(3)	名称 :					
	特徴 :					
(4)	①				②	
4	(1)	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
	(2)	(A)	(B)	(C)	(3)	
	(4)					
(5)						

家庭 解答用紙	2 枚中の 2	受験 番号		氏名	
---------	---------	----------	--	----	--

(6年)

5	(1)	(a)		(b)		(c)	
	(2)						
	(3)		(4)				
6	(1)						
	(2)						
	(3)						
	(4)						
	(5)						
	(6)						
7	(1)	(a)		(b)		(c)	
		(e)				(f)	
	(2)	①					
		②					
	③						
(3)							
8	(1)	(a)		(b)		(c)	
	(2)						
	(3)						

以下はあくまでも解答の一例です。

家庭 解答用紙	2 枚中の 1	受験番号	氏名	(6年)
---------	---------	------	----	------

1	(1)	(a)	実践的	2点	(b)	体験的	2点	(c)	協働	2点	(d)	主体的	2点	(e)	技能	2点
	(2)	健康・快適・安全														3点
	(3)	名称： 学校家庭クラブ活動														2点
	留意点	・家庭科の授業の一環として、年間指導計画に位置付けるとともに、生徒が計画、立案、参加できるよう工夫すること。														4点
		・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事、総合的な探究の時間など学校全体の教育活動との関連を図るようにすること。														4点
		・ホームプロジェクトを発展させ、学校生活や地域の生活を充実向上させる意義を十分理解できるように指導すること。 等														4点
2	(1)	傾向	家庭から排出される食品ロスは減少傾向にあり、特に過剰除去が減っている。													3点
		理由	平成27年に国連で定められた「持続可能な開発目標」(SDGs)の1つに、世界全体の一人当たりの食品廃棄物を2030年までに半減させることが盛り込まれたことや、令和元年に食品ロス削減推進法が施行され食品ロス削減の機運が高まっているからと考えられる。等													6点
	(2)	フードバンク活動(フードドライブでも可)										3点	(3)	312 g		2点
	(4)	酒	15 g		2点	しょうゆ	18 g		2点	砂糖	9 g		2点			
	(5)	(a)	糖質	2点	(b)	食物繊維	2点	(c)	二糖類	2点	(d)	果糖(フルクトース) (ぶどう糖(グルコース)も可)	2点			
		(e)	でんぷん	2点	(f)	ペクチン	2点	(g)	こんにやく	2点	(h)	海藻類(寒天・里芋)	2点			
	(6)	名称	ビタミンB ₁			2点	多く含む食品	豚肉、玄米(胚芽米)、豆類 等					2点			
3	(1)	耐震構造	耐力壁(筋かいや構造用合板等)によって建物の強度を高め、建物全体で地震に耐える構造のこと。 等										3点			
		免震構造	建物と地面の間にある免震装置が揺れのエネルギーを吸収し、地震自体を建物へ伝わりにくくする構造のこと。 等										3点			
	(2)	L字金具で固定する。支え棒(突っ張り棒)で固定する。家具の前下部にくさびを挟み込み、家具を壁際に傾斜させる。 等から1つ														2点
	(3)	名称	合掌造り											2点		
		特徴	雪が落ちやすいように屋根の傾斜が急になっている。 等											3点		
	(4)	①	引違い戸				2点	②	両開き扉				2点			
4	(1)	(a)	天然	2点	(b)	化学	2点	(c)	合成	2点	(d)	紡績	2点	(e)	縫製	2点
	(2)	(A)	毛		2点	(B)	ポリウレタン		2点	(C)	綿		2点	(3)	①	2点
	(4)	学校の運動着は丈夫で乾きやすいポリエステル繊維、伸縮性のあるメリヤス地を用い、体にフィットして動きやすい立体構成の衣服がふさわしい。 等														6点
	(5)	①														2点

家庭 解答用紙	2 枚中の 2	受験 番号	氏名	(6年)
---------	---------	----------	----	------

5	(1)	(a)	責任	2点	(b)	消費者保護	2点	(c)	自立	2点			
	(2)	クレジットカードをつくる、ローンを組み、消費者金融から借金をする								3点			
			一人暮らしの賃貸物件を借りる、携帯電話を契約する								3点		
	(3)	①	2点	(4)	自己破産					2点			
6	(1)	<p>子どもの有無にかかわらず仕事時間、つまり有償労働であるペイドワークの時間は妻より夫の方が長く、妻が家事関連時間、つまり無償労働であるアンペイドワークを担っているという傾向があり、総労働時間は子どもの有無にかかわらず、夫より妻の方が長い。また子どものいる世帯の夫は、いない世帯の夫に比べ家事関連時間が20分増なのに対し、子どものいる世帯の妻は、いない世帯の妻に比べ家事関連時間が約1時間半増加している。仕事時間と家事関連時間を合わせた総労働時間が最も長いのは子どものいる世帯の妻であり、子育てに関連して増加するアンペイドワークが妻に偏っていることが課題としてあげられる。等</p>									8点		
	(2)	性別役割分業意識									3点		
	(3)	一人の女性が一生の間に生む平均の子どもの数のこと。									4点		
	(4)	<p>共働き世帯が増加する一方で合計特殊出生率は低下傾向にあり、令和4年は過去最低の1.26にまで落ちこんでいる。その背景には性別役割分業意識が依然として根強く、女性に家事負担が偏っているという現状がある。一方で男性は生活時間の配分が職業労働時間に集中し、家事労働や家族と過ごす時間が削られていることにも気づかせたい。家庭基礎の学習を通して生活に必要な知識と技能を身につけ、高校生のうちから家事を積極的に手伝えることで、性別にかかわらず家族全員が協力して家事を分担することが重要であるという意識を高めさせたい。</p> <p>家族が小規模化、多様化し共働き世帯が増加している。少子高齢化が進む中、保育や介護の公的支援やファミリーサポートセンターなど相互援助の一層の充実など、これまで家庭が担ってきた機能や家事労働を、社会や地域が支えていくことの重要性に気付かせたい。仕事と家庭生活の両立のためにリモートワークやワークシェアリングなど柔軟な働き方を取り入れたり、男性の育児休業取得を推進したりと、労働環境の改善や意識改革が急務であり、社会全体が積極的にワーク・ライフ・バランスの実現のために取り組む必要があることについても考えさせたい。等</p>									9点		
	(5)	リプロダクティブ・ライツ									3点		
	(6)	<p>特定の相手に抱かれるとすぐに泣き止む、はいはいで特定の相手の後追いをする等、 乳児が特定の相手に対して示す行動を愛着行動という。</p>									6点		
7	(1)	(a)	社会 (外部)	2点	(b)	介護保険制度	2点	(c)	40	2点	(d)	要介護	2点
		(e)	介護支援専門員 (ケアマネジャー)				2点	(f)	介護サービス計画 (ケアプラン)				2点
	(2)	①	訪問介護 (ホームヘルプサービス)									3点	
		②	短期入所生活介護 (ショートステイ)									3点	
		③	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)									3点	
	(3)	<p>車椅子を乗り降りする際や停止している際は、必ずブレーキをかけること。声をかけてから車椅子を押し、急発進や急停止しないようにすること。手がタイヤに巻き込まれないようにすること。等</p>									4点		
8	(1)	(a)	実行	2点	(b)	反省	2点	(c)	評価	2点			
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの目標をもとに、各自の生活を振り返らせ、課題を発見させる。 持続可能な暮らしに関するチェックリストで各自の生活を自己評価させ、課題を発見させる。等 									5点		
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> 実践をスライドにして発表させるなどICTを活用する。 ルーブリック評価を作成し、評価基準を明らかにして相互評価できるようにする。 他者の発表を聞いて良かったところや助言をメッセージカードにして交換し合う。等 									5点		